

おおむた 市議会だより

第202号

平成29年度
9月議会

平成29年(2017年)11月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成24年度以降



市制100周年記念 子ども議会

【主な記事】

- 平成29年度 議会報告会を開催しました／ぎかいの話題(2ページ)
- 子ども議会／おおむた自慢(12ページ)

ぎかいの話題

平成29年度議会報告会を行いました



大正小学校（8月1日）

今年度で7回目となる議会報告会は、下表のとおり9会場で開催し、258名の市民の皆さんに参加していただきました。

また、今年も全会場で要約筆記と手話通訳を行いました。

開催までにご尽力いただいた地域役員、関係者の皆様に感謝申し上げます。

平成29年度 参加人数

8月	会場	人数
1日	大正小学校	40
2日	三池地区公民館	24
3日	手鎌地区公民館	43
4日	吉野地区公民館	43
16日	駛馬地区公民館	26
17日	勝立地区公民館	14
18日	総合福祉センター	13
21日	三川地区公民館	24
26日	労働福祉会館	31
合 計		258

※報道関係者を除く

報告会の概要

はじめに、昨年度の報告会で各会場から出された意見・要望のうち、行政から回答を受けた項目について報告しました。

前半では、「市制100周年大牟田市魅力再発見～住みよいまちづくりと情報発信～」をテーマとした報告を行いました。人口減少問題に対応するため、将来も住み続けたいまち、選ばれるまち大牟田となるように、大牟田の魅力の再発見と情報発信に取り組む「シティプロモーション」について、行政の取り組み、市民の取り組みについて、参加された皆さんから意見をいただきました。

後半では、議会が平成28年度中に取り組んだ内容について事例を報告し、防災・減災、空き家・空き地、学校に関する意見も多く出されました。

この他にもアンケートや寄せられたご意見などは、多岐にわたり、現在、広報広聴委員会の広聴部会を中心に、寄せられたご意見の集約・分類作業を進めています。

また、9月に開催された定例会の質疑質問や決算特別委員会の中で、今回の議会報告会で寄せられたご意見も踏まえて、各議員が発言をさせていただきました。

今後も定例会や委員会をはじめ、あらゆる機会を通じて市政に反映させていきます。

酷暑の中をご参加いただいた方に感謝申し上げます。

報告会資料の一部



参加者のアンケート集計結果（抜粋）

回答者数 217人

〔 〕は昨年の議会報告会での回答割合（昨年の回答者数246人）

○年代 20代以下（1.4%〔0.0%〕） 30代（1.8%〔1.6%〕）
40代（6.9%〔5.7%〕） 50代（15.2%〔14.3%〕）
60代（28.8%〔31.0%〕） 70代～（46.1%〔46.5%〕）
無回答（0.0%〔0.8%〕）

○開催日時について

参加しやすかった（84.8%〔78.0%〕）
参加しにくかった（6.0%〔7.7%〕）
無回答（9.2%〔14.2%〕）

○内容について

満足（18.0%〔11.8%〕） やや満足（41.9%〔49.6%〕）
どちらでもない（21.7%〔20.7%〕）
やや不満（7.4%〔7.7%〕） 不満（1.4%〔0.4%〕）
無回答（9.7%〔9.8%〕）

○議会に関心が

もてた（42.4%〔39.8%〕） 少しもてた（33.2%〔39.8%〕）
どちらでもない（10.6%〔8.1%〕） もてなかった（1.4%〔2.0%〕）
無回答（12.4%〔10.2%〕）



地域の防災力向上

- 地域の防災リーダー育成のため、防災士資格取得に向けて、防災士養成講座を開催（H29年11月開催予定）
- 全20校区で防災訓練等が実施できるよう継続した支援の実施



本会議運営のあらまし

9月議会の概要

本会議運営

28年度決算の認定、人権擁護委員候補者の推薦など

第3回定例会

平成29年度第3回定例会は、9月4日に招集され、9月27日までの24日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、4億7,726万円を追加する一般会計補正予算などの議案20件、報告5件、請願1件、意見書案の発議8件、人権擁護委員候補者の推薦1件の計35件でした。

本会議では、シティプロモーション、地域活性化策の推進、奨学金制度などの諸課題に13人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、28年度各会計決算議案は、決算特別委員会に付託し、審査を行いました。

本会議最終日までに、請願1件、意見書案の発議3件を除いた議案、発議、諮問をそれぞれ可決、認定または、異議なき旨を答申して本会議を閉会しました。

決算特別委員会

大牟田市動物園等への要望

議員全員で構成する決算特別委員会（塩塚敏郎委員長、北岡あや副委員長）を設置し、28年度の各会計決算関係議案7件について、9月19日から22日までの4日間にわたり、慎重に審査しました。

審査の結果、68項目の意

見・要望を盛り込んだ委員長報告書をまとめ、本会議最終日に全ての決算関係議案を認定しました。

このうち、大牟田市動物園、ほっと安心奨学金制度については、全議員により合意形成が図られ、市長に回答を求めることとしました。

決算特別委員会で合意形成を図った最重要の要望

1. 動物園について

大牟田市動物園については、利便性の向上を図る観点から、トイレの改修や駐車場など施設の整備に取り組まれない。また、持続可能な運営が図られるよう、園内販売による収入増や経済効果が波及するような仕組みづくりとともに、将来を展望する上で動物の飼育・繁殖・展示についても計画的に推進されたい。

2. 奨学金制度について

ほっと安心奨学金制度については、本市として推進する事業に掲げている中、現状において取り組みが進んでいないと思われることから、他都市の状況等を調査・検討し、本市で可能な制度の構築に向け、より一層努力されたい。

平成28年度決算については、「広報おおむた12月15日号」に詳しく掲載される予定です。

委員会メモ

大牟田市市制施行100周年記念式典の開催

【総務委員会】

8月31日の委員会で、大牟田市の市制施行100周年を記念し、市民一人一人が本市への理解を一層深め、次の世代での飛躍と発展を目指し、市民や各界の来賓とともに市を挙げて祝いの式典を開催する旨の説明を受けました。

平成29年11月19日（日）午後1時から大牟田文化会館大ホールにて行われる予定です。

押し花絵画創造展

第14回コンテスト

【市民教育厚生委員会】

9月1日の委員会で、世界各国を対象とする押し花絵画の国際公募展を市制100周年記念事業として11月3日から5日の間、旧三井港俱樂部において開催される旨の説明を受けました。また、11月4日には、ホテルニューガイアオーラムタガーデンで、表彰式や講演会等も開催されます。

中心市街地等の活性化に向けた取り組み

【都市環境経済委員会】

9月1日の委員会で、中心市街地の活性化に向け、7月より「空き店舗アドバイザー」を配置。11月配置の「街なか再生マネージャー」を選考した旨の説明を受けました。

これにより専門家が配置され、空き店舗解消や中心市街地の活性化に向け、重点的かつ集中的に推進していきます。

学童保育所・クラブ

【まちづくり・活性化特別委員会】

8月21日の委員会で、学童保育所・クラブにおける平成28年度利用者アンケート結果及び大牟田市放課後児童健全育成事業に係る基本調査について、また今後の取り組み事項等について説明を受けました。これを受け、利用料金、延長保育、支援員の確保等について質疑が交わされました。

議案等の審議結果

議 員 名 議 案 等 名		自由民主党議員団							公明党議員団					社民・民進・護憲 クラブ				日本共産党 議員団			無所属					賛 成 数	審 議 結 果	
		徳永春男	今泉裕人	境公司 (議長)	田中正繁	中原誠悟	光田茂	森竜子	山口雅夫	大野哲也	今村智津子	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝	橋積和雄	北岡あや	高口講治	島野知洋	城後徳太郎	塚本二作			森遵
請願第2号	看護職員の勤務環境改善により、安全・安心の医療提供体制の確保を図るための請願	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	8	不採択
発議第15号	介護保険制度の改善と介護報酬の引き上げを求める意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	8	少数否決
発議第16号	看護職員の勤務環境改善により、安全・安心の医療提供体制の確保を図ることに関する意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	8	少数否決
発議第17号	核兵器禁止条約への参加を求める意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	8	少数否決
発議第18号	受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	14	多数可決
発議第19号	小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書案	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	16	多数可決
議案第20号	平成２８年度大牟田市一般会計決算の認定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	21	認定
議案第21号	平成２８年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	21	認定
議案第22号	平成２８年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	21	認定
議案第23号	平成２８年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	21	認定
議案第27号	平成２９年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第32号	大牟田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
発議第20号	森林環境税（仮称）の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書案	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
発議第21号	道路整備に必要な予算確保に関する意見書案	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で認定、可決、異議なし

議案第 24 号 平成28年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について

議案第 25 号 平成28年度大牟田市水道事業会計決算の認定について

議案第 26 号 平成28年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について

議案第 28 号 平成29年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算

議案第 29 号 平成29年度大牟田市介護保険特別会計補正予算

議案第 30 号 平成29年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算

議案第 31 号 平成29年度大牟田市病院事業債管理特別会計補正予算

議案第 33 号 大牟田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 34 号 大牟田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 35 号 大牟田市市道に設ける道路標識の寸法に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 36 号 大牟田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 37 号 大牟田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 38 号 財産の取得について(災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型))

議案第 39 号 過疎地域自立促進計画の変更について

発議第 22 号 食品衛生管理の国際標準化を求める意見書案

諮問第 1 号 人権擁護委員候補者の推薦について〔前田京子氏〕

インフォメーション

■次の定例会は12月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画(平成24年度以降)を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。

12月上旬から閲覧できます。ホームページでも12月上旬から閲覧・検索できます。

市民の不安に応える市政に



社民・民進・護憲クラブ
平嶋 慶三 議員

市長の政治姿勢

問 厳しい財政状況を踏まえ、今後の総合計画（アクションプログラム）の見直しについてはどう考えているのか。

答 本市の財政状況は実質的に赤字の状況で、31年度まで財源不足が続くと見込まれる。

行政評価や検証結果を踏まえ、スクラップ＆ビルドを基本に、より効果的な事業へと改善を図っていく必要がある。

三池港のヒアリ侵入への対応

問 国・県の対応・対策と、本市の対応について伺う。

答 県では、公共埠頭やコンテナヤード内に捕獲用粘着わなや殺虫餌を設置。国土交通省においては、生息環境となり得るコンテナヤードの舗装のすき間を埋める緊急工事が実施された。三池港は、これまでヒアリは確認されておらず、引き続き調査が実施されると聞いている。

国・県・関係機関と連携・協力しながら、早期対応を図っていききたい。

動物愛護の現状と課題

問 本市の近年の犬・猫殺処分現状を伺いたい。

答 平成25年度は219件、26年度は67件、27年度は29件、28年度は0件。今年度も現在0件となっている。

再発言 これからも殺処分0件を目指して努力してほしい。

また、市動物管理センターの施設は建てかえの時期を過ぎている。今後建てかえるときは「処分」施設ではなく「愛護」施設とすべき。検討を。

本市のため池等の安全性

問 7月の九州北部豪雨では、ため池が決壊するなどして甚大な被害が発生している。

25年から2カ年にかけて県内のため池一斉点検が実施されているが、本市の豪雨による整備が必要なため池点検結果について聞きたい。

答 緊急整備の優先度が高いため池はなかったものの、詳細な点検等が必要なため池は、山間部の極小なため池3カ所という結果が出ている。

再発言 市民にため池の決壊を、どういち早く伝えるかが極めて大事であり、情報のおくれが命を左右することもあることから、市民への情報伝達方法の検討を要望する。

母子家庭（ひとり親）の本市支援策

問 母子家庭（ひとり親）への支援状況を伺う。

答 経済的支援としては、児童扶養手当の給付や医療費助成など。就労支援としては、ハローワークと連携した就職支援、資格取得を目指す方への高等職業訓練促進給付金、能力開発のための教育訓練講座を受講する方への支援など。

生活面や育児等の困り事については、子ども家庭課で相談を随時受け、関係機関と連携するなどして具体的な支援につなげている。

再発言 役所には相談に行きにくいという意見もある。女性センターのような支援拠点も必要では。検討を要望する。

部落差別解消推進法施行後の課題

問 近隣市には施設が整備され、人権啓発や多彩な地域交流等が行われている。拠点があるから発想や取り組みも生まれると思う。本市にもこういった拠点が必要ではないか。

答 制定された法律の趣旨を踏まえ、関連機関等と連携し、議員からの提案も参考にしながら人権啓発に係る拠点機能を充実させていきたい。



ヒアリ

代表質問

核廃絶平和都市を宣言した大牟田市として、核廃絶に向けた積極的な取り組みを



日本共産党議員団
北岡 あや 議員

核兵器禁止条約への参加に向けた取り組みを

問 人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約が、国連で採択。残念なことに、日本政府は会議に参加せず、この条約に背を向けている。

この態度に対する市長の見解は。

答 恒久平和は、私たち人類共通の願望であり、条約の採択は核兵器のない世界に向けた前進だと思う。ただ、現状の国際情勢等を考えるとどのような責任ある対応をとるのか、別の考え方もとらざるを得ないのではないかと思います。

核兵器廃絶平和都市宣言

恒久平和は私たち人類共通の願望である。

核戦争の惨禍を二度と繰り返してはならない。

大牟田市は、市民一人一人の平和を願う心を結集して、あらゆる核兵器の廃絶を訴え、ここに核兵器廃絶平和都市を宣言する。

昭和60年12月8日 大牟田市

問 核兵器廃絶平和都市宣言

をし、平和市長会議に加盟している本市の市長として、国に対して積極的な働きかけを期待するがどうか。

答 現実的な対応を考えた

場合、なかなかそういった簡単なアプローチができるのかと思う。

再発言 今年の長崎市の平和宣言の中に、「日本政府に訴えます…唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約への一日も早い参加を目指し、核の傘に依存する政策の見直しを進めてください。日本の参加を国際社会は待っています。」とある。市として積極的な発信・行動を求める。

介護現場で働く人の確保と処遇改善

問 どの介護事業所も介護職の人員不足が深刻。市としての対策を聞きたい。

答 介護サービスの質を上げていく意味においても人材の確保は大きな課題。介護に対する非常にネガティブなイメージが先行している。就職面談会を実施しても参加していただく方が少ないのが現状。まずは、介護に対するイメージを変えていくことが必要。

そこで、市民や学生さんに対し、実際に介護現場で働く職員さんが、介護職が非常にやりがいのある仕事だという

ことなどを伝えてもらう介護フェスタ等に取り組んでいる。

問 人員不足は介護職の賃金の低さという点が大きく、この間、介護報酬の引き下げも行われた。市として国に対して働きかけをしてほしいが。

答 各事業所に、国の制度の改定に合わせて着実に処遇改善の加算をとれるよう、助言や指導に努めている。

再発言 助言・指導もよいが、事業所は、事務職・送迎の運転手等がチームで動いている。加算という形では限界。根本的な解決のため国に対して働きかけを求める。

奨学金制度の創設を

問 日本の高等教育費は高く、学生や保護者に負担を強いてきた。家計の収入が減少する中、学費における学生・保護者の負担も限界を超えており、進学を断念する人も少なくない。また、卒業後の雇用・収入が不安定で、貸与型奨学金の返還をできない人も増加。本市が検討している奨学金制度はどうなっているか。

答 経済的な理由で就学が困難な人の教育の機会の充実、若年層の定住促進等を目的とする奨学金制度を導入できないか検討している。財源の確保が大きな課題と捉えている。

再発言 財政状況が厳しいであろう県内の複数の自治体が実施している。積極的に調査・研究を進め、奨学金制度創設を実施してもらいたい。

地域活性化策の推進と大牟田市動物園の環境整備



自由民主党議員団
光田 茂 議員

大牟田市も駅周辺の都市機能の充実を図り、来訪者の利便性向上等に向け、ホテル誘致を検討する必要があると考えている。

新大牟田駅南側の開発

問 地域雇用の受け皿やにぎやかで元気なまち大牟田づくりに向け、新大牟田駅南側の開発は不可欠であると思うが、市長の考えを聞きたい。

答 本年6月の農村地域工業等導入促進法の改正で、一定条件のもと、農地への産業の導入に関し配慮がなされた。本年度は、新たな雇用の受け皿として、内陸型の産業団地の可能性について調査を進めており、新大牟田駅南側を候補地の一つと考えている。

大牟田駅東口周辺整備

問 本市に足りないのは宿泊施設と思う。地域経済の発展のために、また周辺都市に負けないよう、大牟田駅東口の観光プラザやシティコートを含め、市内へのホテル誘致が必要と思うが、考えを聞きたい。

答 周辺自治体の久留米市・柳川市・みやま市においては、優遇制度をつくり積極的にホテル誘致に取り組まれている。

大牟田市動物園の環境整備

問 動物園の駐車場の対策は、早急に改善すべき喫緊の課題。スピード感をもって取り組むべきと思うが、現在の整備の見通しを聞きたい。

答 旧延命中学校跡における駐車場の整備は、建物等の解体・撤去費用や駐車場整備費用にかかる財源などの具体的な検討が必要と考える。しかし駐車場の改善は喫緊の課題と捉えており、スピード感をもって進めたいと考えている。

問 男女兼用となっているトイレについては、改修を求める声が多いと思うが、考えを聞きたい。

答 建物も若干古く男女兼用トイレであることや、おむつがえのスペースがないことなど改善すべき課題と認識しており、トイレの改善に向け、早急に検討を進めたい。

絵本美術館の設置

問 本市出身の絵本作家の内田麟太郎さんが、生まれ育った大牟田を応援するために絵

本の原画を展示する絵本美術館を動物園の中に設置してはどうかと提案されている。

動物園の魅力をさらに高め、同時に絵本を通じて文化を発信する拠点として、絵本美術館の設置についての考えは。

答 内田麟太郎さんとはこれまで何度かお会いし、動物園に絵本美術館設置の提案をいただいている。

動物園の魅力をさらに向上させるものと思っており、休憩室・売店設置も含め、財源・設置場所・維持管理の課題もあるが協議を進めていきたい。



内田麟太郎さん

市立学校適正規模・適正配置計画の中間見直し

再発言 学校再編は、まちづくりの一環であり、中間見直しにおいては、各学校の歴史や文化、まちづくりという観点から、特色ある学校づくりを進められるべきである。

前の適正規模・適正配置検討委員会の審議にもあった特色ある学校づくりの一つである、「中友小・大正小・松原中の小中一貫校」について再考されるよう要望する。

代表質問

今後の100年を見据えたまちづくり



子ども議会を終えての所感

問 大牟田の未来を担う子供達による子ども議会を終えた市長の所感を聞きたい。

答 これからの大牟田のまちづくりをテーマに、生徒たちが自らの考えと言葉で質問や提案を考えてくれた。

環境、福祉、防災、観光など日頃から学んでいるESD（持続可能な開発のための教育）の視点を踏まえ、私たちも真剣に答弁を考え、本会議と同じ気持ちで臨んだ。



シティプロモーション戦略

問 シティプロモーション戦略が目指すものを聞きたい。

答 シティプロモーション活動を通して、市民の大牟田への愛着と誇りの醸成、市外から見た大牟田のイメージと知

名度の向上を図り、交流人口の増加、さらに移住・定住人口の増加につなげたい。

問 シティプロモーションを推進するに当たっての市

役所内の目標の共有化の取り組みを聞きたい。

答 シティプロモーションを進める上で推進室だけが取り組むのではなく、全職員が同じ目標を持つことが非常に重要と考える。戦略策定の過程で管理職を対象とした研修会では、意義について情報を共有化し、策定後は全職員を対象とした研修会で目標の共有化と職員向けに策定したガイドラインの周知を図った。

問 交流人口や移住・定住を推進するためには、まず認知度を上げることが大切であると思うが、3月1日に誕生したジャー坊の活動とゆるキャラグランプリ2017の取り組み状況について聞きたい。

答 4月のジャー坊議会では、特別住民登録と大牟田わくわく隊長の任命を受けた。ジャー坊の活用には、イラストの活用とジャー坊本人のイベントへの派遣の2種類がある。現在、参加しているゆるキャラグランプリの順位が伸び悩み、商工会議所の皆さんとともに上位に押し上げようと選挙対策本部をつくり、1日1万票獲得を目標としている。

再発言 ジャー坊の活躍を推進するために、大牟田市動物園のようなサポーター制度を取り入れるなど創意工夫をしていただきたい。

保健福祉部の機構改革

問 保健福祉部の機構改革に至った目的について聞きたい。

答 これまで障害、高齢、生活困窮など複合的な課題への支援は、単独の相談機関では十分な対応ができず調整に時間もかかった。このため健康長寿支援課を設置し、総合相談窓口により複合的な福祉ニーズにも対応することとした。

学童保育所の拡充

問 待機児童解消については、市議会からの要望に対して手鎌小学校の第2学童保育所の設置や民間事業者への補助事業などに取り組まれている。

それでもなお待機児童が生じている小学校の今後の対応について聞きたい。

答 平成30年度に向けては、吉野校区に第2学童クラブの開所、白川校区では支援単位の見直しで定員をふやすための協議を行っている。

再発言 議会報告会で天の原校区の待機児童について心配する意見があった。荒尾市のように保育園や幼稚園、障害者交流拠点を活用した設置も考えられるのではないかと。

地域、実情に応じた学童保育所の設置を進められたい。



社民・民進・護憲クラブ
松尾 哲也 議員

シティプロモーション

問 今後の取り組みを聞く。

答 ①大牟田の魅力の創出・発信、②移住定住支援の2本柱で事業を展開していく。



日本共産党議員団
橋積 和雄 議員

学校給食費の無償化、一部補助の検討開始を

問 子育て支援、保護者の負担軽減のため全国で給食費の無償化、一部補助が広がっている。検討、開始に向けた市



自由民主党議員団
山口 雅夫 議員

持続性を見据えた研究機関との新たな連携

問 国の20年先を行くと言われている本市の高齢化の進行は、日本の将来のためにも貴重なデータであり、それを欲

教職員の長時間労働

問 現状と教育長の考えは。

答 1週間当たりの勤務時間は、小学校が約57時間、中学校が約63時間で全国調査と同様に増えている。いわゆる給特法による超勤4項目の関連など、教員定数の改善も含めて国・県に要望していく。

部活動における教職員の負担軽減

問 大牟田市の現状は。

長の見解は。

答 学校給食法に基づき、食材料費に保護者負担を求めるのは妥当だと思う。

再発言 子どもの貧困対策、人口減少対策としても有効な子育て支援として実施に向けた検討を求める。

安心して暮らせるまちづくり

問 立地適正化計画の目的は。

答 人口減少や高齢化に対応した持続可能なまちづくりを構築していくことと考える。

する民間企業や研究機関もあるとも思える。連携の推進についての考えは。

答 より効率的、効果的なまちづくりを進めていく上において、民間企業や研究機関等の知見やアイデアを活用するとともに、民間からの投資などを呼び込みながら取り組みを進めることが重要になってくると考えている。

移住・定住促進のためのインセンティブ

問 人口減少への対応に向け

一般質問

答 外部指導者を活用し、本年度の中学校では、14名に部活動や大会のコーチとして参加いただいている。

新大牟田駅周辺の活性化

問 開業から6年半が経過したが、今後の整備方針は。

答 広域交流拠点に位置づけて、都市計画マスタープランの見直しを進めている。

問 駐車場不足への対応は。

答 駐車容量の拡大に向けて、関係者と協議を行っている。

再発言 計画の進め方次第では、身近な公共施設やサービスがなくなり、周辺地域の切り捨てを招く危険がある。市民参加、住民合意による安心して暮らせるまちづくり計画となるよう求める。

問 地域公共交通の課題は。

答 鉄道やバスなど既存の交通網をいかに確保、維持していくかが課題。

再発言 交通弱者対策を具体化し、歩いて暮らせるまちづくりを実現する公共交通網形成計画となるよう要望する。

将来的な移住・定住を目指すためには、市民を巻き込む仕掛けづくりを行う必要がある。市民一人一人が営業マンとなり人を呼び込むよう、やる気を起こすためにも市民営業マンが移住者を獲得したならばインセンティブを与える仕組みを試みるのも一つの手法と考えるが市長の考えは。

答 市民がこのまちを知り、愛着を持ち、口コミで外部に広げる行動につながる、そうした入り口の第一歩として重要な取り組みの視点と考える。

一般質問



公明党議員団
平山 伸三 議員

市長の政治姿勢

問 人口減に歯どめをかける市長の思いと決意を聞きたい。

答 子育て支援と教育の向上、産業の多様化と雇用の場の確

保などさまざまな取り組みにより人口減少の抑制につなげたい。

動物愛護

問 動物飼育を通じた生命尊重教育について聞きたい。

答 動物とのかかわりを通して動物が生命を持っていることや生き物への親しみ、生命の尊さなどに気づく貴重な体験の場と考えている。

問 平成30年度以降の野良猫不妊・去勢費用助成の継続と

答 基本的には開所時間を延長していくという観点に立ち、検討を進めていく必要があると考えている。

災害発生時の体制は十分か

問 大規模災害発生時の業務継続計画が立てられているが、熊本震災以降に見直した点は。

答 現在作業中の受援計画の策定の中で、新たな課題や支援業務に携わった経験も踏まえ、今後見直していきたい。

問 庁舎が使用できなくなっ

た場合の代替施設は文化会館が設定されている。業務が継続できる設備は整っているか。

答 本来の用途と違っており設備環境は整っていない。指定地方公共機関などと連携し、災害発生後、速やかに設備環境が整えられるよう努めたい。

情報発信で積極的に…
それなら、おおむた と宣言を！

問 市長の情報発信は効果が

予算アップをしてはどうか。

答 取り組みの効果等を検証し、平成30年度以降の事業継続等、全てを検討したい。

安心安全なまちづくり

問 LED防犯灯設置のさらなる推進についての見解は。

答 市としては明るいまちづくり協議会や校区まちづくり協議会などと連携を図り、さらなるLED防犯灯の設置と普及に努め、防犯灯設置の意義の啓発にも努めたい。

問 柳河と三池は兄弟藩。柳川市と一体で誘致すべきでは。

答 本市にもゆかりがあり招致委員会に参画し協力したい。

大河ドラマ誘致は積極的に

問 柳河と三池は兄弟藩。柳川市と一体で誘致すべきでは。

答 本市にもゆかりがあり招致委員会に参画し協力したい。

大きく重要と考えるが、今一番強調したいことは何か。

答 今現在、本市の公式キャラクター、ジャーフに関するPRを強調している。

再発言 市長が強調したいことを宣言として発信することを提案したい。市の宣言は、取り組み姿勢を対外的に示すもので、宣言に費用はかからない。また、市が重視している課題を表現でき、積極的に取り組もうとしている姿勢を内外に示すことができるという効果が期待できると思う。



自由民主党議員団
森 電子 議員

学童保育所・クラブ
開所時間の延長実現を

問 子育てしやすいまちの実現には学童保育所・クラブの充実が不可欠。開所時間の延長を早急に実施すべきでは。



公明党議員団
大野 哲也 議員

誰もが安心して暮らせるまち
それなら、おおむた

問 本市の若年型認知症支援の現状について聞きたい。

答 平成21年に、認知症の当事者同士の出会いとつながり

を深める会「ほやき・つぶやき・元気になる会」の発足を支援した。同会では、毎月1回の定例会や小旅行等の活動を行うほか、ことし4月には認知症フレンドシップキャンペーンとして、市内を歩くメモリーウォークを主催した。

今後も当事者の方々の主体性を引き出しながら、活動の支援を行ってまいりたい。

一般質問



自由民主党議員団
中原 誠悟 議員

防災・減災

問 北朝鮮のミサイル発射に関する訓練や市の対応は。

答 9月の市総合防災訓練において、ミサイル発射を想定

した退避訓練を実施した。今後も地域で実施される訓練等で国民保護のサイレン音の周知や退避訓練を実施していく。

問 AED（自動体外式除細動器）の設置や講習の状況は。

答 小・中・高等学校、主な公共施設、民間事業所や商業施設などに設置され、市消防本部ホームページからAEDマップを見ることができる。

中学校では普通救命講習の授業の中でAED講習を行っており、また、要望があれば講習会を随時開催している。



無所属
塚本 三作 議員

全国学力・学習状況調査結果の小中学別公表と学力向上

問 全国学力調査結果は市教育委員会の判断で学校別に公表できるか。

答 慎重に判断することとさ

れているが、一覧での公表や数値により順位を付した公表は行わないこと、結果は学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを明示することなど一定の配慮に基づいたものであれば教育委員会で公表するのは可能である。

問 調査結果の公表に関する検討経過について伺う。

答 小学校・中学校の校長会やPTAの意見を踏まえ、教育委員会としては結果の公表を慎重に行うよう協議した。



無所属
森 遵 議員

教育施策の充実

問 本市の学力・体力テストの分析による現状と課題は。

答 学力・体力ともに大きく二極化が見られることから、

児童生徒の実態に応じたさらなる手だてが必要である。

問 学校現場が、しっかりとした教育をできる環境づくりのために、来年度に向けて教職員の研修の充実、学習サポーターの小学校への平日の投入、スクールソーシャルワーカーを中学校区に1人への増員が必要と思うがどうか。

答 そのときそのときでの精いっぱいの充実を図って来ていると考えている。アクションプログラムの見直しの中で可能な限り今後も取り組んで

旧船津中学校跡地の活用

問 旧船津中学校の体育館・運動場の地域での活用は。

答 現在、検討を行っており、施設の利活用の方向性が整理でき次第提示したい。

問 旧船津中学校の体育館は防災倉庫として活用されているが、浸水想定区域に指定されており、移動してはどうか。

答 現在は一時的な保管場所としており、年度内に各備蓄庫へ移送する予定である。

問 切磋琢磨の気風を醸成するため、小中1校ずつ、最優良得点校を公表してはどうか。

答 一人一人の児童生徒のよりよい成長のためには、切磋琢磨の気風は大切であり、学校教育活動において大切にしている一つであるが、本調査の目的を第一義として序列化や過度な競争が生じないようにするなど、教育上の効果や影響などに十分配慮することが重要であり、これまでどおり全市的な傾向や特色及び改善策等について公表したい。

いきたい。

大牟田市制100周年記念事業

問 同事業を今後のまちづくりへどうつないでいくのか。

答 事業の継続については、効果の検証を踏まえて、今後検討したい。若者の積極的な動きが見られた事業もあり、今後のまちづくりへつながっていくことを期待している。

再発言 若い人が活躍し、成長できる場づくりを、引き続き行ってほしい。

おおむた自慢



大牟田市制100周年を記念し、8月25日に「子ども議会」が開催されました。

市内の市立中学校の生徒が議員となり、中尾市長をはじめ市当局に対し、これからの大牟田のまちづくりなどについて質問や提案を行いました。

子ども議会は、これまで市制80周年、90周年に開催し、大牟田市政に目を向ける契機としてきました。本年は、市内中学校生徒の市制100周年を祝う心情を高めるとともに、住民意識の向上を期待して子ども議会が開催されました。

また、今回は各小学校の代表児童も参加し子ども議会の様子を傍聴しました。

第1議長（橘中学校 立石さん）



松原中学校 「環境に優しいエコ活動の推進」
 宅峰中学校 「災害に強い大牟田のまちづくり」
 宮原中学校 「大牟田市の活性化のための取組」
 歴木中学校 「交通ルールを守る安心・安全なまちづくり」
 田隈中学校 「大牟田市を訪れる観光客を増やす取組」

第2議長（宮原中学校 松井さん）



大牟田特別支援学校 「特別支援学校のいろいろな交流の継続」
 白光中学校 「高齢者に優しいまちづくり」
 橘中学校 「大牟田市の文化芸術の充実」
 甘木中学校 「ジャー坊を活用したまちの活性化」

< 発言項目 >

< 中学生の感想 >

子ども議会に学校代表として参加し、たくさんの提案や質問とその答えが飛び交っていく中で、大牟田が地元で良かったと思いました。

これからの大牟田のまちづくりがどのように発展していき、大牟田のまちがどのように活性化していくのか、私もそのまちづくりに協力していけたらいいと思います。

< 小学生の感想 >

市制100周年を記念し、中学生の方々が自分たちの「大牟田にとって、いい町づくり」のためのアイデアを出し合っていたので素晴らしいと思いました。

また、議長の人ガスムーズに議会を進めていたところがすごいと思いました。

編集後記

8月の議会報告会では、参加された皆さんから議会・行政への意見・要望がたくさん出され、9月議会、決算特別委員会で議員がそれらの声を行政に届けました。今後も皆さんの声をまっすぐ市政に届け、実現できるよう議会としてがんばってまいります。

(H)

■編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】橋積和雄 【副委員長】古庄和秀

【委員】今泉裕人 山口雅夫 塩塚敏郎 松尾哲也 島野知洋

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail : e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

■印刷 株式会社野口印刷所